

東洋大学の国際化

Globalization 1

マハティール閣下と学生の対話集会

8月4日、白山キャンパス 125 記念ホールにマレーシアの元首相であるマハティール・ビン・モハマド閣下を招き、英語での対話集会を行いました。本学を中心に「スーパーグローバル大学創成支援」採択校から学生 28 名が出席し、マレーシア情勢や日本人論、キャリア、教育などをテーマに熱のこもった質疑応答を展開。マハティール閣下からは「学生たちが日本や世界の状況を真剣に考えていることに感銘を受けました。世界で起きていることに敏感になり、自分で意思決定できる力を養ってください」と講評をいただきました。



参加学生の声

経済学部国際経済学科4年
清宮亮太さん

「グローバル人材像を
考える上で新たな視点を
得ることができた」

社会学部社会学科3年
遊佐花奈子さん

「世界的に有名なリーダーと
直接対話する
貴重な機会を得られた」

総合情報学部総合情報学科3年
ポー・ジュンケトさん

「日本のさまざまな問題に
敏感になり、学んでいく
モチベーションが高まった」

Globalization 2

「国連CoE Specialist Centre of Excellence on PPPs in Local Governments」に認定 第10回国際PPPフォーラム開催

8月4日、大手町サンケイプラザで「第10回国際PPPフォーラム」を開催しました。これは本学が2006年に開設したPPP (Public-Private Partnership、公民連携) を専門とする大学院の研究成果の公表、課題提言を目的としたフォーラムです。10回目となる今回は、マレーシア元首相のマハティール・ビン・モハマド閣下と石破茂地方創生担当大臣が基調講演を行い、本学のPPP活動への期待を語られました。また、国連欧州経済委員会からジェフリー・ハミルトン PPP 推進局長が来日。本学の活動を高

く評価し、世界の地方政府に対する支援と人材育成のための機関「Specialist Centre of Excellence on PPPs in Local Governments (国連CoE)」への認定を発表しました。

ジェフリー・ハミルトン氏(左)から認定証を受け取る福川伸次理事(右)



Globalization

ストラスブール大学との 協定締結30周年

2015年、フランスのストラスブール大学との協定締結30周年を迎えました。それを記念して9月を「ストラスブール大学月間」とし、両大学の教職員が行き交う国際シンポジウムや学生の交流イベントなど、多彩な催しを行いました。

ストラスブール大学月間への想い

学長 竹村 牧男

ストラスブール大学は、文系・理系双方を広範に擁したフランスでも有数の大学であり、世界的にも著名な大学です。ストラスブール大学と東洋大学には、共通の学問分野が大変多く、国際的に優れた水準の大学を目指す本学としては、ストラスブール大学との交流は今後ますます重要なものとなってきてしょう。

特に近年、従来より活発な交流がされてきた経済学分野のみならず、日本文学文化の分野や社会学、生命科学の分野などにおいても、学術交流が活発に行われており、両大学間の交流はより深まってきていることは、大変喜ばしいことです。

本学とストラスブール大学では、大学間協定締結30周年という節目の年を迎えて、さまざまなイベントを開催しました。両大学の教職員および学生等の多方面における交流が今後さらに発展していくことを、心より希望しております。

— 国際シンポジウム

9月22日、23日、ストラスブール大学を中心とした5名の研究者を招聘し、白山キャンパスで「グローバル共生社会のあらたなイノベーション人財像—変貌する日仏経済・労働環境への創造的「ナレッジ・エンジェルズ」の挑戦—」を開催。日仏の経済・社会・労働の比較研究を中心に、両大学の30年間の交流で積み上げた成果に基づき行われました。



— 学術交流プログラム

「日本文化・芸術・思想におけるストラスブール大学との教育ならびに学生交流」をテーマに学術交流プログラムを実施。本学教員がストラスブール大学を訪れ、「日本の霊性について」をはじめ、江戸庶民思想や古武道、能などについて発表しました。10月26日にはストラスブール大学関係者を招聘し、講演会も行いました。



— 学生ライブ討論



学生と教員が事前にストラスブールで行ったフィールドワークをもとに、「環境と観光の共生」をテーマにストラスブール大学と本学をスカイプで結び、学生ライブ討論を行いました。

— 図書館特別展示



東洋大学附属図書館（白山図書館）にて、9月18日～10月17日に「ストラスブール・イヤー～フランス留学・研修への誘い～」を展示。図書館所蔵資料を中心にストラスブールの魅力を紹介しました。

— ECZストラスDays



9月30日～10月2日、白山キャンパスのEnglish Community Zoneで図書館特別展示と同テーマで、フランス留学経験のある教員や留学生、本学学生が集まり、英語ではない国際化、研修報告、食文化についてイベントを開催。

Globalization 4

Students Interview

海外留学・海外ボランティア

海外留学・海外ボランティアを経験した2名を紹介。活動内容や、現地で得た貴重な体験、これからの目標を聞きました。



国際地域学部 国際地域学科4年
北原 舞さん
留学先:フィリピン大学ディリマン校
期間:2014年8月2日~12月31日

大学1年生の時に、研修でセブ島に初めて訪れた際、「住む」ことでフィリピンという国を肌で感じて理解したいと思い留学を決めました。

留学中は、自分の殻を破ることの難しさに苦労しました。日本の授業では大人数で講義を受けることが多いですが、フィリピンでは少人数で積極的にコミュニケーションを取ります。最初はギャップに戸惑いましたが、「日本人だから」と逃げのではなく、新しい環境で自分と向き合うことで、新しい自分に挑戦し、自信がついていくことを学びました。

滞在中は常に新しい環境に飛び込むことを心がけ、授業後はNGOでボランティア活動をしたり、フィリピンで活躍する日本人の方に積極的に会いに行きました。最も印象に残っているのがアジア各国からユースが集まる国際会議に参加したこと。ディスカッションでは日常会話で経験できない英語の難しさを実感し、悔しさいっぱい思い出となりましたが、同時にその悔しさが私のモチベーションを上げました。

机上の勉強以外にも、実際に「住む」ことで学べるものがたくさんあります。多様な人や文化に触れ、自分の世界が広がる魅力は、留学だからこそ得られたと感じています。今後は就職先である旅行業界でその経験を生かし、旅の力で各国の魅力を引き出すことで、発展に寄与していきたいです。

英語力、他国の文化は机の上では学べない。肌で感じるからこそ得られるもの。



ライフデザイン学部 健康スポーツ学科4年
石黒拳士朗さん
留学先:オーストラリア
期間:2015年8月15日~9月6日

スケールの大きな自然に感動！社会問題に対する意識が変わった。

大学2年生の時に約1年間アメリカに交換留学をしました。その経験から、同じ英語圏ながらイギリスから完全独立を遂げたアメリカとは反対に、共和国という形を取っているオーストラリアに興味を抱き、今回海外ボランティアへの参加を決めました。

ボランティア活動は1グループ7~8人で構成され、1週間単位で仕事をするエリアに派遣されます。主な活動内容は絶滅危惧種の蝶の宿主植物の植え付けや外来種の雑草駆除など。このとき訪れた国立公園の大自然が最も印象に残っています。留学前からもオーストラリアには熱帯雨林と多種多様な生物が生息しているというイメージはありましたが、目の当たりにしたのは想像を遥かにしのぐスケール。今までに経験したことのない感動を覚えました。

ボランティア活動中の1週間は現地にホームステイし、ホストファミリーの方々には親切に迎えていただきました。

今回の活動を通じて考えるようになったのは、日常の些細なできごとでも、大きなスケールで考えると社会問題の一片であるということ。まずは身の回りの問題に目を向け、自分で考え、行動に移していきたいです。

私は海外経験や語学力がほぼゼロの状態から留学を決断し、唯一無二の経験や親友に出会えました。皆さんも今の英語力に嘆かず、ぜひ挑戦してみてください。

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択 TOYO GLOBAL DIAMONDS 構想



平成 26 年度、文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」(タイプ B・グローバル化牽引型)に採択された本学の構想「TOYO GLOBAL DIAMONDS」。ダイヤモンドの原石である学生を磨き、グローバル人財へと育成。言語教育や異文化交流などプログラムを充実することで、学生の意識を高め、国際化を推進していきます。

— TGLプログラムとは

TGL (Toyo Global Leader) プログラムは、多くの学生がグローバル人財へと成長するための教育プログラムです。単なる語学学習にとどまらず、「異文化環境における英語運用表現能力」「文化的な価値創造能力」「異文化環境における課題解決能力」の3点を強化していきます。学生の取り組み状況に応じて「Gold」「Silver」「Bronze」と認定していき、学生一人ひとりがそれぞれの目標に向かい、能力の獲得や体験を通じてグローバル人財への階段を上っていくことが可能なプログラムとなっています。



TGLキャンプ参加者募集中!

TOYO GLOBAL DIAMONDS 構想における TGL プログラム認定要件の1つであり、1・2年生を対象とした1日完結型プログラムです。約200名の参加者が5名1グループとなり、それぞれ「世界の国」について調査し、発表します。

目的

- 世界に広く目を向け、その後の海外活動等に結び付ける
- 他学部・他学年とのネットワークを構築する
- 情報ツールの使い方を学習する

開催概要

日時 平成28年2月12日(金) 11:00~18:00
場所 白山キャンパス
対象 全学部の1・2年生
募集人数 200名(先着順)

当日のスケジュール

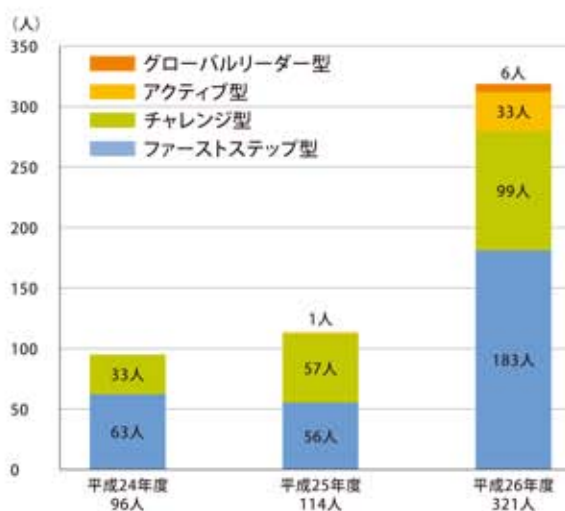
グループ内の自己紹介、アイスブレイク
調査方法の説明
ワークショップ、ポスターセッション
教員による講評、結果発表

参加申込方法

ToyoNet-ACE「TOYO GLOBAL DIAMONDS」コース内「TGL Program」より

奨学金受給者数

本学学生の海外留学を経済的に支援する「東洋大学海外留学促進奨学金」。「グローバルリーダー型」「アクティブ型」「チャレンジ型」「ファーストステップ型」の4タイプの奨学金年間受給者数は、平成24年度から3年間で約3倍となりました。



日本人学生に占める留学経験者

日本人学生における留学経験者の人数の推移を表しています。単位取得を伴う留学経験者が占める割合は、平成25年度は1.7%。平成35年には10.3%を目指します。

